**２０１８年**

**第４８回 茨城県中学生テニス選手権大会**

**期 日**　　２０１８年４月３０日（月）、５月３日（木）～５日（土）

**予備日**　 ５月１３日（日）

**会 場**　　笠松運動公園（ハードコート１４面）

**日 程**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 日　付 | 種　　目 | 受　付 | 開会式 | 試合開始 |
| ４月３０日（月） | 男子シングルス男子ダブルス（注） | ８時２０分 ～ ８時３０分 | ８時４０分 | ８時５０分 |
| ５月　３日（木） | 女子シングルス女子ダブルス（注） | ８時２０分 ～ ８時３０分 | 8時４０分 | ８時５０分 |
| ５月　４日（金） | 男・女シングルス残り試合男・女ダブルス　　　　　 | ８時２０分 ～ ８時３０分 |  | ８時４０分 |
| ５月　５日（土） | 男・女ダブルス残り試合男・女学校対抗戦 | ８時２０分 ～ ８時３０分 | ８時４０分 | ８時４０分８時５０分 |
| ５月１３日（日） | 大会予備日 |  |  |  |

（注）シングルスの試合を優先的に行い、空きコートができ次第、ダブルスの試合を行うため、進行の

具合によっては、その日にダブルスの試合を行わないこともあります。

|  |
| --- |
| ■試合実施の有無などを試合当日の午前6時にインターネット上（http://ibatyuteren.seesaa.net/）に掲載しますので、天候等で不安な場合は、そちらで確認してください（携帯からでも閲覧可能）。それ以外の手段による問い合わせは、一切受け付けておりません。 |

■雨天で試合を行えなかった場合は、日程を順延します。

例）初日が順延の場合は、大会２日目より男子シングルスを行います。

■手続きおよび時間を決して間違えないようにしてください。

■急な疾病等でやむなく大会を欠場する場合は、受付時間前までに090-5779-4781まで連絡すること。

**主催**　　茨城県テニス協会

**主管**　　茨城県中学校テニス連盟

**後援**茨城県中学校体育連盟

**協賛**ブリヂストンスポーツセールスジャパン㈱

**競技役員**

運営委員長　　　山崎　将弘

ディレクター　　廣光　正人

レフェリー　　　（個人）金井　利幸　　　　　（団体）小西　善之

競技運営委員　　青山　知史　　石島　　啓　　内山　　覚　　岡野　智子　　釜田　重徳

加茂木の実　　鯨井　章二　　武間　裕子　　田島　　明　　塚脇　　実

外岡　拓弥　　中野　瑞貴　　濵口　誠巳　　浜田　慎平　　久松　和則

正木　和美　　増田　一徳　　松原なつき　　町田　雅弘　　間宮　宗孝

諸角　裕作　　谷田部裕貴　　谷田部祐介　　山下　裕己　　山田　祥大

渡辺　　駿

**諸注意**

１　出場者および引率教諭は、日程表の指定時刻より早めに会場に集合し、全員揃ってプレーのできる服装で、コートレフェリ－に出席を届けること。出席の届けの遅れや、届けがない場合は出場できません。

２　引率教諭の付き添いがない場合は出場できません。引率教諭は、受付から試合終了までチームの選手の監督、指導にあたってください。ただし、部活動のない学校においては、原則として保護者の引率が必要です。

３ 試合前の練習コートは、当日７時００分より受け付けますので、必要な場合は役員に申し出ること。

４ 試合の服装や用具については以下のことを守ること。

①試合着は、襟付き（スタンドカラーは不可）のポロシャツ、短パン（ひざが隠れないもの）またはスコートで中学生らしい清楚なものとすること。

②ガットにロゴマークの入ったラケットは使用しないこと。

③コートベンチに、ビンやカン、ペットボトルを持ち込まないこと。必要な場合は水筒を持参すること。

④その他、レフェリーに従うこと。

５　試合については以下のことを守ること。

1. 種目によりルールが異なるので、よく確認すること。

男子シングルス

１回戦～３回戦の試合は、４ゲーム先取のノーアドバンテージ制。４回戦～準々決勝の試合は、６ゲーム先取のノーアドバンテージ制（４０－４０とし、次のポイントを獲得した選手がその１ゲームの勝者となる。その際レシーバーはサービスのサイドを選択できる）。

準決勝～決勝は、１セットマッチ、６－６の場合は、１２ポイントのタイブレーク（２ポイント差の７ポイント先取）。

女子シングルス

１回戦～２回戦の試合は、４ゲーム先取のノーアドバンテージ制。３回戦～準々決勝の試合は、６ゲーム先取のノーアドバンテージ制（４０－４０とし、次のポイントを獲得した選手がその１ゲームの勝者となる。その際レシーバーはサービスのサイドを選択できる）。

準決勝～決勝は、１セットマッチ、６－６の場合は、１２ポイントのタイブレーク（２ポイント差の７ポイント先取）。

男子ダブルスおよび女子ダブルス

１回戦～準々決勝の試合は、６ゲーム先取のノーアドバンテージ制（４０－４０とし、次のポイントを獲得した選手がその１ゲームの勝者となる。その際レシーバーはサービスのサイドを選択できる）。

準決勝～決勝は、１セットマッチ、６－６の場合は、１２ポイントのタイブレーク（２ポイント差の７ポイント先取）。

1. 試合球は、ブリヂストン　ＸＴ８で、各自ニューボール（１缶２球・開缶していないもの）を、シングルスは１人１缶、ダブルスは２人で１缶をそれぞれ持参すること。
2. 試合前のウォームアップは初回戦のサービス４本のみとする。初回戦以外はサービスのウォームアップも認めない。試合が近づいたら各自工夫をして準備運動をすること。コート外でのボールを使った練習はしないこと。
3. 審判は原則として敗者審判とする。審判は**正しいジャッジ**と**大きなコール**ができるようにすること。
4. セットブレーク（１ゲーム終了後のコートチェンジの際にベンチに座ったり、飲み物をとったりできない）を採用する。
5. けいれんその他、体力の消耗による休憩はできない。救急処置が必要な場合は、レフェリーを呼んでもらいその許可を得ること。勝手にコートを離れることはできない。
6. その他、レフェリーの指示に従うこと。

６　コート外からはいかなる指示も選手に出さないこと。

７　欠場のないように努めること。特にシード選手は注意を払うこと。

８　ごみは各自で持ち帰ること。

本大会では、各日最初の試合を除き、**敗者審判制**を採用します。試合の敗者は、そのコートの次の試合の審判をすることになります（シングルスの場合は１人で、ダブルスの場合は主審と副審それぞれ分かれて行います）。

審判は、「テニスルールブック」（日本テニス協会発行）のルールや倫理規定を理解した上で、**大きな声で速やかにジャッジを行い、スコアシートに結果を記録してください**。

スコアシートの見本（ノーアドバンテージ６ゲーム先取の例）

